

MORI MORI PRESS

2013.4
モリ
プレス
vol.23

森田としかず(前埼玉県議会議員)

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、
 早稲田大学政経学部、カナダ・マギル大学留学、
 早稲田大学大学院博士課程を経て…
 28歳・県議選初挑戦(23票差で次点)
 30歳・訪問介護事業開始 32歳・県議選初当選
 33歳・介護施設上川原んち開設 36歳・県議選2期目当選
 38歳・衆議院議員選挙初戦(55,663票で次点)

〒360-0831熊谷市久保島1003-2
 tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

morimorita 森田俊和

モリモリプレスとは!?

森田としかずのビジョンや政治に対する思い、地域活動の記録などを皆様にお伝えする広報紙です。



新しい(でも懐かしい) 日本の形を創る!



新たな出発

昨年12月の衆議院選挙から早くも4ヶ月が経過しました。改めて選挙戦を振り返りますと、無所属の新人という立場



でありながら、大勢の皆様にご支援いただいたこと、本当にありがたいことでした。私は、自転車で、街頭で、集会所や公民館で、私の思いを一所懸命訴え、それに多くの方が応えてくださいました。今回の選挙では、議員になることはできませんでしたが、皆様のお気持ちを無駄にせぬよう、これからも努力を重ねてまいります。

新年度を迎え、新たな気持ちで埼玉12区(熊谷市、行田市、羽生市、加須市、旧川里町)での活動を再開したいと思います。これまでと同様、広報紙であるモリモリプレスを作成し、駅頭や街頭でお配りいたします。また、一軒一軒のお宅を回り、あるいは5~10人程の人数から座談会を開催するつもりです。そうした機会を通じ、皆様に私の思いをお伝えし、それに対する皆様のお考えを伺い、私の政策的な血や肉とさせていただきますと思います。

今、何をなすべきか?

次の解散までは、3~4年の期間があると思われます。その間に私は何をすべきか、ずいぶん考えました。その結果、一番大切なことは私が政治家として、どのような地域や国を創っていくのかということをもっと具体的に表して、それを皆様にお伝えしていくことだという結論に至りました。

現在、自民党に政権が移り、アベノミクスが始動し、支持率も高い状況です。景気には「気」が付くように、

皆様の気持ちが大切ですから、期待が高まっている今は景気も上向くでしょう。しかし、この状態はそれほど長くは続かないだろうと私は思っています。なぜならば、今日日本は大きな調整期のただ中にあるからです。

比較的小さな景気の上下動はあったとしても、大きな経済の流れは、内需の縮小という課題を避けて通ることはできません。昨年1月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の将来推計人口」によれば、50年後の日本の人口は約8600万人になるそうです。これは昭和25年頃の人口と同じ規模です。

しかし、悲観することはありません。成熟した日本は、量より質で勝負する段階に来ています。勤勉で、人と人の付き合いを大切に、自然と共存する私たちの生き方をもう一度見つめ直す。そして、お金やモノに左右されず精神的な充足感がもてる国のあり方を確立していく必要があります。

そのためには、何かが降ってくるのを待つのではなく、積極的にあるべき姿を模索していかなければなりません。私は与えていただいたこの浪人期間を通じ、国のあるべき形の輪郭を彫り出し、皆様にお示ししていきたいと考えます。ぜひ皆様からも、ご意見をお聞かせいただければと思いますので、ぜひメール、FAXなどお寄せください。今後の活動に際しましても、皆様のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

目で見える地域に根ざす活動記録



緑化計画発表会

「星川にもっと緑を!」

熊谷の中心部を流れる星川を緑化し、目に優しく、涼しい街並みをつくって行きましょう、という趣旨で計画を練ってこられたそうです。



子育て支援センターにて

親心を育む会に参加しました!

保育園の園長先生、主任の先生方が集う勉強会です。0、1、2歳児を預かることの危うさ、長時間保育の弊害について議論しました。